

既存の資産・資源をいかした 「香南アグリーム」施設の利活用

高松市 創造都市推進局
産業経済部 農林水産課



| 目次

1. 高松市の概況
2. 香南アグリームの概況
3. 施設の紹介
4. 課題の整理
5. サウンディングの目的と展開
6. サウンディングにおいてお伺いしたいこと
7. ロードマップ（案）

1 高松市の概況

(1) 高松市の位置



高松市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中枢管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた都市です。

四国地方 うどん県（香川県）の県庁所在地



世帯数 : 192,386世帯
人口総数 : 409,246人
面積 : 375.67km²

R6.10.1現在（推計人口）

1 高松市の概況

(2) 高松ってこんなまち！



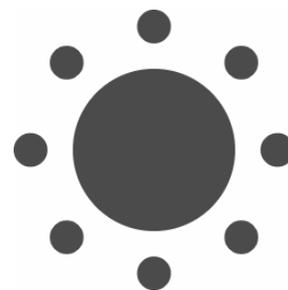
うどん消費額
日本一



高松城
(三大水城の
1つ)



世界に誇れる盆
栽・漆器・石製
品



温暖な気候



海に近いまち



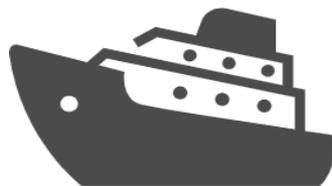
自転車王国



栗林公園



屋島



人と物が行き交
う四国の玄関口



商店街
(日本一長いアー
ケード商店街)



ほどよく都会

2 香南アグリームの概況

(1) 施設の概要



名称	高松市香南産地形成促進施設（香南アグリーム）
所在地	高松市香南町岡 1 2 7 0 番地 1 3
設置年月日	平成 1 4 年 6 月 2 3 日
設置の経緯	魅力ある農業を構築する施策の一環として、農家と関係機関が一体となり特色ある地域農業を形成・促進する農業の拠点施設として設置された。 農林水産省の経営構造対策事業を活用し、高松空港に隣接して広がる広陵地帯に整備されている。
指定管理者	有限会社香南町農業振興公社（R6年度～R10年度予定） ※H18年度の指定管理者制度導入時より継続
総敷地面積	4 8, 8 0 2 m ² （施設整備時）
総事業費	5 4 8, 8 5 7 千円
駐車場	5 0 台 ※大型バスも可



2 香南アグリームの概況

(2) 香南アグリームについて



消費者との交流を通じて地場産品の普及の促進及び生産振興を図り、農業活性化に資するため整備された農業交流体験施設。**収穫体験、料理体験施設、市民農園、カフェ、貸し室、花き栽培施設**を備え、年間を通じて様々な体験が行える。

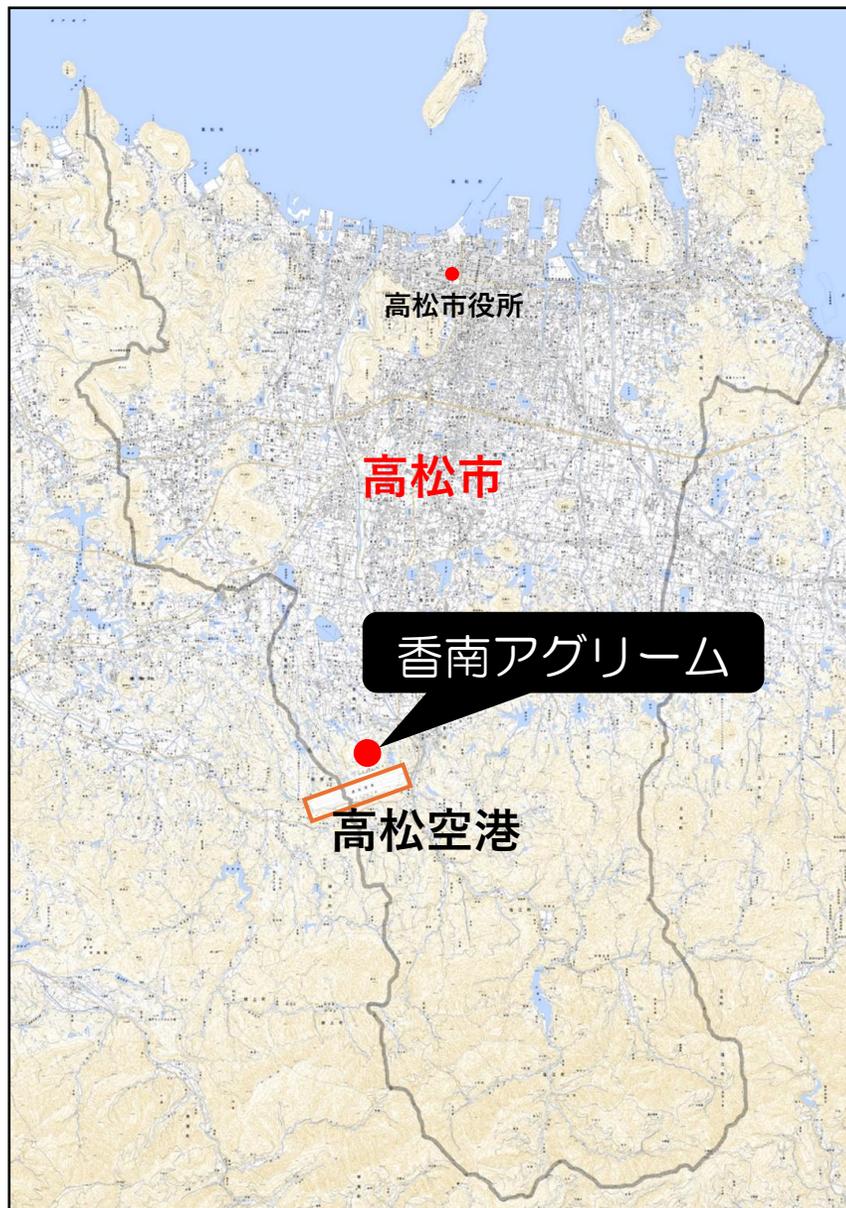
また、農産物供給拠点として、**産地直売所「香南朝市」**が道の駅「香南楽湯」に隣接し、設置されている。

高松空港に隣接しており、本市のグリーン・ツーリズムの拠点施設にもなっている。

【基本方針】	
(1) 都市住民との交流促進	収穫体験、料理体験、イベント等の開催により、都市住民との交流やグリーン・ツーリズムの促進を図る
(2) 地産地消・農業振興の推進	香南朝市（産地直売所）の活用や販路の拡大等により、地産地消及び農業振興を図る
(3) 近隣施設等との連携	高松空港、さぬきこどもの国、さぬき空港公園、香川県園芸総合センター（さぬきフラワーパーク）などの近隣施設や、市内のグリーン・ツーリズム体験施設と連携を図り、利用者の拡大及び地域の活性化を図る。 《連携している団体等》 <ul style="list-style-type: none">・高松市グリーン・ツーリズム推進協議会・空港周辺施設連絡会

2 香南アグリームの概況

(3) 施設の位置図



立地条件

- ✓ 高松空港に隣接
- ✓ 近隣に、公園・児童館・園芸センターなどの施設あり
- ✓ 高松市中心地から車で約30分
- ✓ 近隣に、同規模の類似施設が存在しない



2 香南アグリの概況 (4) 施設の見取図



主な施設

- ① 産地形成促進施設
(事務棟)
- ② 産地形成促進移設
(体験工房棟)
- ③ 複合経営促進施設
(花き栽培ハウス)
- ④ 市民農園
- ⑤ 体験農園・果樹園
- ⑥ ヤギ小屋

3 施設の紹介

①産地形成促進施設（事務棟）



1階に事務室、2階にカフェと販売展示室（貸し室）が配置されており、当施設の拠点となる建物。
各種受付等は、事務室にて行っている。

- 鉄骨一部鉄筋コンクリート造地上2階建て
- 建設面積 442.20㎡
- 延床面積 590.23㎡（1階 210.00㎡
2階 380.23㎡）
- 主要用途 1階 事務室（28.13㎡）
2階 カフェ（111.41㎡）
販売展示室（121.50㎡）



①産地形成促進施設(事務棟)



事務棟外観



事務室



カフェ



販売展示室

3 施設の紹介

②産地形成促進施設（体験工房棟）



調理体験が行える施設。

ガスオーブン、ガステーブルコンロ、デッキオーブン、業務用冷蔵庫などの調理家電や調理器具を備えている。

- 鉄骨一部鉄筋コンクリート造地上1階建て
- 建設面積 216.00㎡
- 延床面積 207.00㎡
- 主要用途 第1体験工房（88.20㎡）
第2体験工房（27.90㎡）
- 収容可能人数 5～40人



②産地形成促進施設(体験工房棟)



工房棟外観



第1体験工房①



第1体験工房②



第2体験工房

3 施設の紹介

③複合経営促進施設（花き栽培ハウス）



花き生産農家の経営の安定化を目指し、6棟の花き生産温室(ハウス)を整備し、農家と市で使用契約を締結している。R5年度より、2棟のハウス内でイチゴを生産しており、収穫体験に利用している。

【花き栽培ハウス】

●鉄骨フッ素系硬質フィルム温室

●延床面積 3,564㎡

大（間口13.5m × 奥行51.0m） 688.5㎡ × 4棟

小（間口13.5m × 奥行30.0m） 405.0㎡ × 2棟

【菊出荷作業室】

●鉄骨スレート造平屋建

●延床面積 108㎡



③複合経営促進施設（花きハウス）



花きハウス外観①



花きハウス外観②



菊出荷作業室外観



イチゴ栽培

3 施設の紹介

④市民農園



レクリエーションや自家用野菜の生産などを目的として、小面積の農地を利用して野菜や花を育てることができる施設

- 区画 51区画（R6年度時点）
- 年間利用料金 13,200円（1区画）
- 貸出期間 1年間（更新可能）
- 設備 灌水施設・休憩所・小農具貸出・無料駐車場



④市民農園



3 施設の紹介

⑤ 体験農園・果樹園

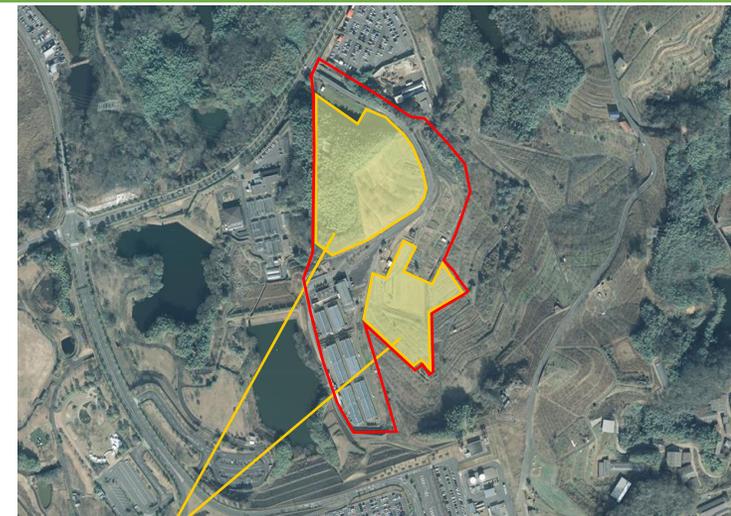


年間を通して、サツマイモ、ジャガイモ、トマト、ピーマンなどの野菜や、イチゴ、柿、栗、ブルーベリーといった果物の収穫体験ができる。保育園や幼稚園の教育施設や子ども会等の団体の利用も多い。

●作付面積 約13,000㎡

●作付品種 規定なし（水稻以外）

（参考）R6年度時点：たけのこ、たまねぎ、ジャガイモ、トマト、キュウリ、ブルーベリー、栗、サツマイモ、柿、イチゴなど



⑤ 体験農園・果樹園



収穫体験イベント



体験農園(トマト)



果樹園(柿)

3 施設の紹介

⑥ヤギ小屋



動物とのふれあいを提供するため、ヤギを飼育しており、エサやり体験を提供している。

エサの販売には自動販売機を導入している。

- 飼育施設 木造平屋建て 1棟 30㎡
フェンス 約100m
- 飼育頭数 11頭(令和6年9月10日現在)
- その他 動物取扱責任者を配置している



⑥ヤギ小屋



ヤギ小屋



ヤギ小屋



エサ自動販売機

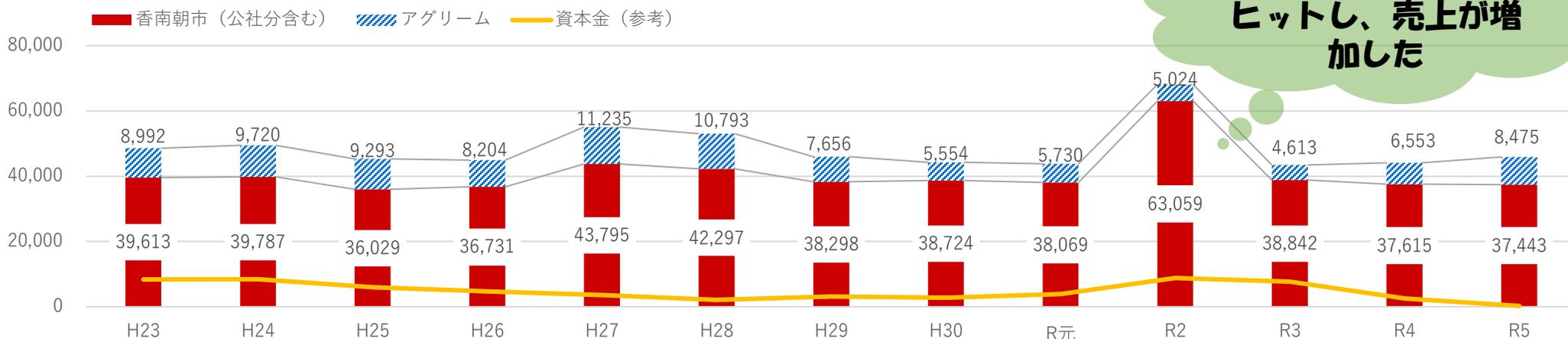


ヤギ



課題① 逼迫した経営状況

売上高は低下若しくは横ばいの傾向にあるが、収支のバランスの悪化により、資本金（当初1,000万円）が、令和5年度末には29万円まで減少している。

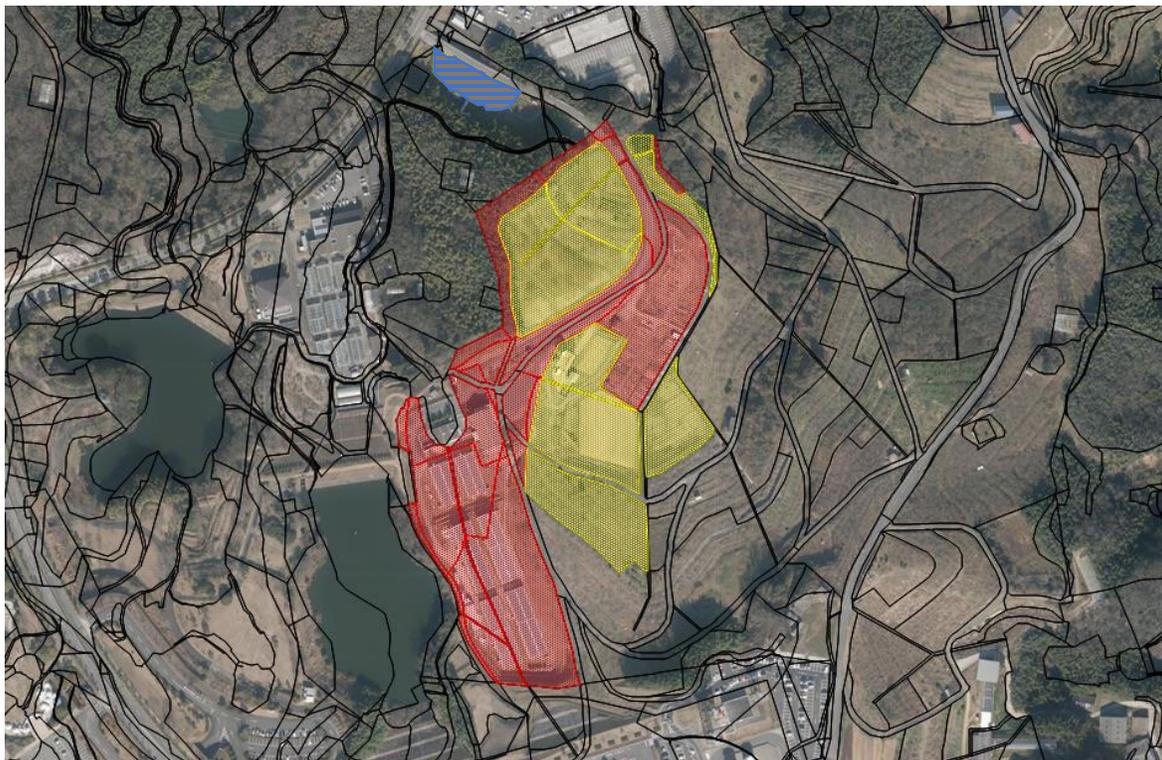


香南朝市において、フルーツサンドがヒットし、売上が増加した

売上高推移(香南アグリーム・香南朝市)											(税抜)(単位:千円)		
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
売上高	48,605	49,507	45,322	44,935	55,030	53,090	45,954	44,278	43,799	68,083	43,455	44,168	45,918
香南朝市(公社分含む)	39,613	39,787	36,029	36,731	43,795	42,297	38,298	38,724	38,069	63,059	38,842	37,615	37,443
アグリーム	8,992	9,720	9,293	8,204	11,235	10,793	7,656	5,554	5,730	5,024	4,613	6,553	8,475
資本金(参考)	8,364	8,429	5,984	4,759	3,611	2,124	3,180	2,821	3,948	8,846	7,717	2,567	291



課題② 借地契約



【現状の借地関係】

	賃貸人	賃借人	賃料※
赤	個人（4名）	市	1,575千円/年
黄	個人（4名）	公社	228千円/年
青	市	公社	---

※R6年度時点

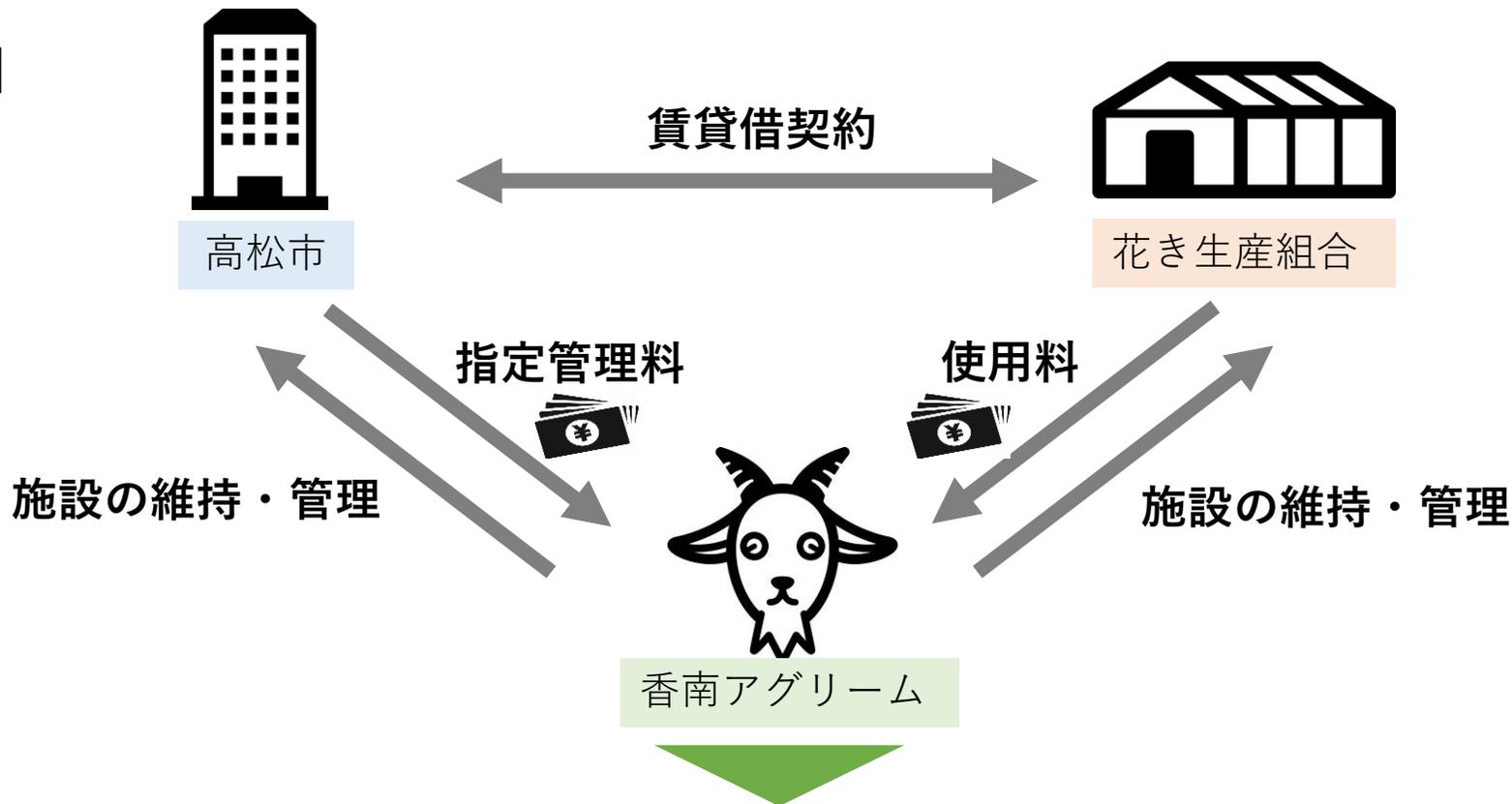
借地借家法の規定により、契約日（H13~14年）から30年間は途中解約ができない。現行の指定管理期間が終了したR11年度以降についても、現契約が継続している間は賃貸借の関係が続く。

- ✓ 賃貸借契約の継続
- ✓ 土地の買い取り
- ✓ 新たな賃貸借契約の締結 など



課題③ 花き栽培ハウスの運営

【現状の関係】



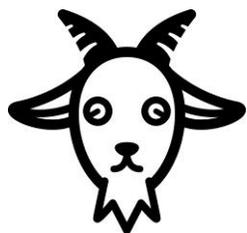
香南アグリームは、花き栽培ハウスの使用料が管理経費として必要不可欠であるため、同使用料を収入として確保しなければならない状況にある。

新たに花き栽培ハウスの有効活用を視野に入れるためには、引き続き使用料を受領するスキームとするか、又は使用料に相当する売上が達成可能な運営体制を整備するなどの工夫が必要となる。



課題④ 有限会社香南町農業振興公社

指定管理者である「有限会社香南町農業振興公社」は、合併前の旧町（香南町）時代に、本施設を管理・運営することを目的とし設立された事業者である。



香南アグリーム

●資本金	1,000万円		
	(内訳)	高松市	95%
		JA香川県	3%
		その他農業者4名	2%
●役員	4名		
●従業員	14名 (R6.3.31時点)		

第三セクターであり、
かつ**資本金の割合が25%以上**である**外郭団体**でもある

(PPP手法など)

- ✓ 新たな手法による運営
- ✓ 指定管理者制度



(管理・運営事業者)

- ✓ 新たな事業者
- ✓ 有限会社農業振興公社



| 提案の目的

民間事業者のノウハウ・アイデアにより、当施設のポテンシャルを引き出すことで、魅力的な施設として再生し、有効的な運営が行える可能性について確認を行うもの。

| 今後の展開

提案いただいた意見をもとに、抜本的な改革に向け、当施設の将来ビジョンを策定し、それに基づいた施設の適切な運営を図る。



| 前提条件

- ① 「農業体験施設」としての機能を維持すること
- ② グリーン・ツーリズムの拠点施設として機能すること

| 想定するビジネス展開(例)

- ✓ 保有している資産・資源をいかした観光農業をターゲットとしたビジネス展開
- ✓ 広大な敷地をいかした新たなビジネス展開
- ✓ 立地条件をいかしたインバウンドの誘客ビジネス展開※
- ✓ 「観光農業」、「食育」、「地産地消」、「グリーン・ツーリズムの推進」をテーマにした農業テーマパークへのビジネス展開

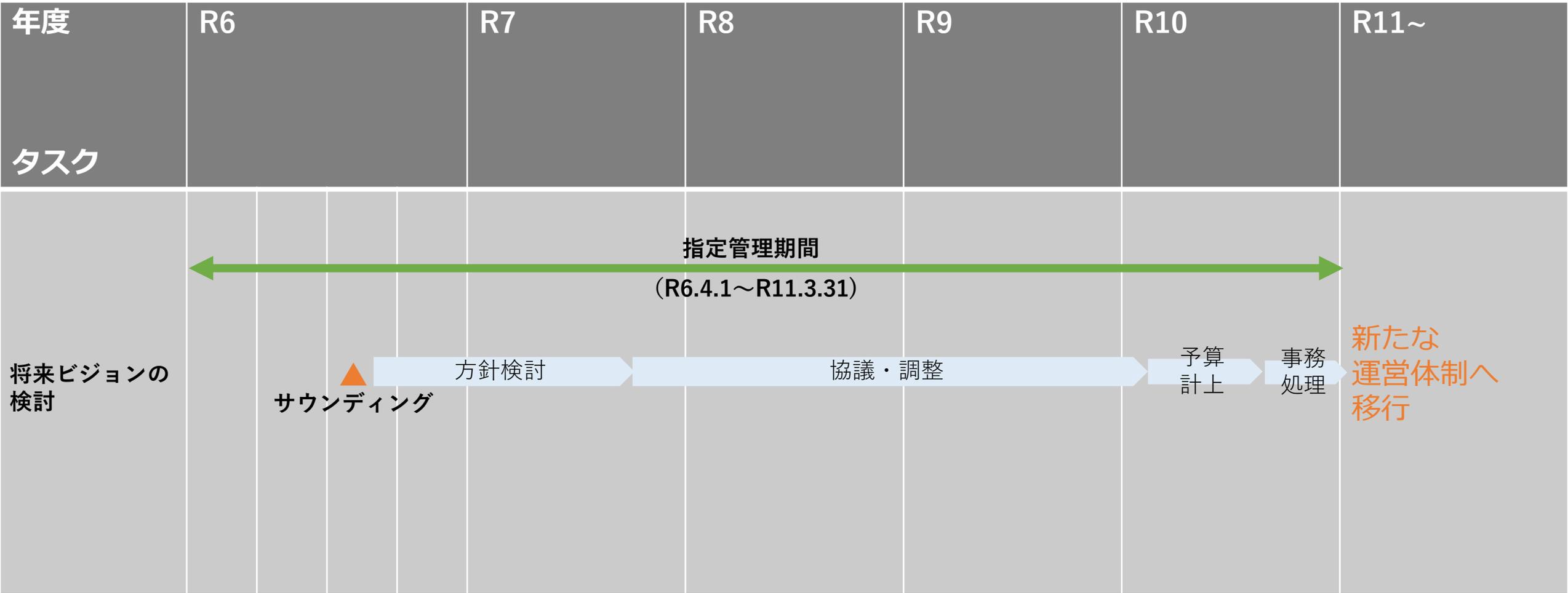


| 質問

- ✓ **ビジネス展開例を含めた具体的なアイデアの提案**
- ✓ **ビジネスアイデアを展開するに当たり、官民連携手法としてどのような手法が想定され得るか。また、どの手法が適しているか。**
- ✓ **ビジネスアイデアを展開するに当たり、高松市に求める必要な整備内容等について**
- ✓ **官民連携する場合の条件や課題について**
- ✓ **既存の栽培ハウスの観光農業としての活用方法について**

※これら質問のうち一部の御提案でも構いません。

7 ロードマップ (案)

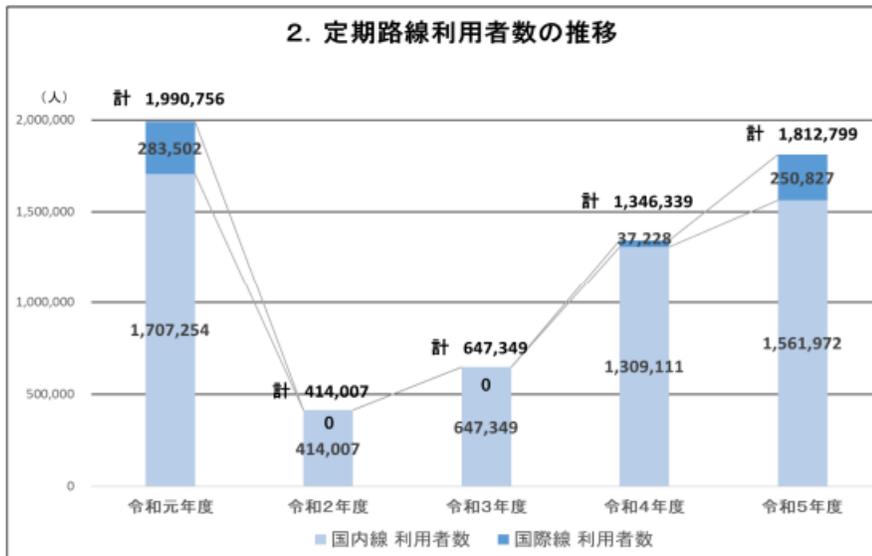




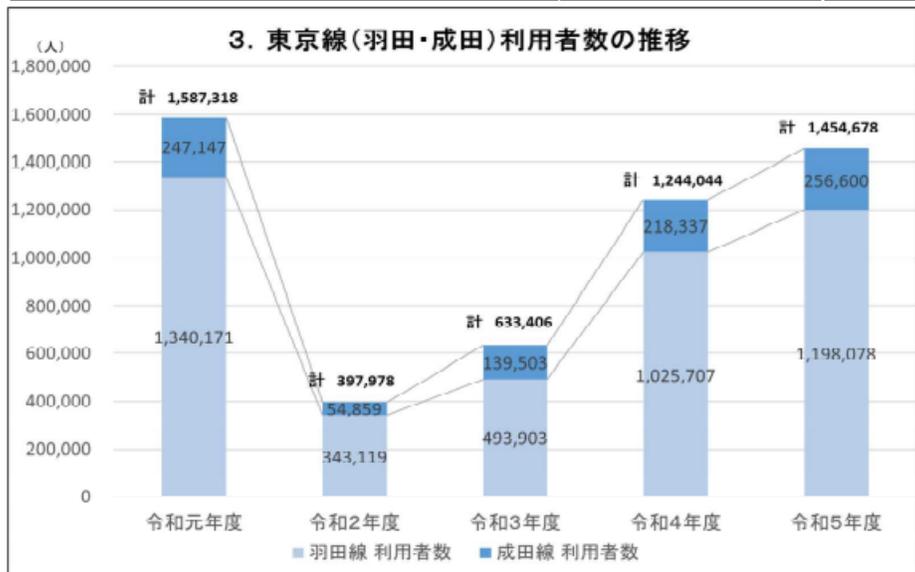
1. 高松空港路線別利用者数 (単位:人)

			令和4年度		令和5年度		②/①
			利用者数①	利用率	利用者数②	利用率	
国内線	東京線	羽田線	1,025,707	58.2%	1,198,078	68.0%	116.8%
		成田線	218,337	75.4%	256,600	82.5%	117.5%
	那覇線		65,067	48.1%	107,294	70.6%	164.9%
	計		1,309,111	59.9%	1,561,972	70.2%	119.3%
国際線	ソウル線		20,881	88.3%	134,977	86.3%	646.4%
	上海線		0	0.0%	840	32.6%	皆増
	台北線		9,839	65.5%	66,680	78.0%	677.7%
	香港線		6,508	58.2%	48,330	81.9%	742.6%
計			37,228	74.7%	250,827	82.6%	673.8%
定期路線合計			1,346,339	60.2%	1,812,799	71.7%	134.6%
国内チャーター便			45便 2,513	68.5%	44便 3,170	78.9%	126.1%
国際チャーター便			0便 0	0.0%	64便 9,415	91.0%	皆増
チャーター便合計			45便 2,513	68.5%	108便 12,585	87.6%	500.8%
総合計			1,348,852	60.2%	1,825,384	71.8%	135.3%

2. 定期路線利用者数の推移



3. 東京線(羽田・成田)利用者数の推移



4. 国際定期路線 利用者数の推移

